

● 活動目的

成育医療とは、胎児から始まって、新生児・小児・思春期を経て次世代を生み育てる成人世代の心身の健康まで、リプロダクションのサイクルを連続的・包括的に捉える医療を意味しています。当研究室の主要構成員は小児内科医(新生児科、一般小児科)であり、小児内科一般の臨床研究を扱っています。当小児科には、新生児、内分泌、神経、感染症、アレルギー、代謝、腎のそれぞれの専門家がいたため多方面にわたる分野の臨床研究及び治験等に柔軟に対応しています。また、24時間救急医療も診療の柱としておりますので、救急医療への取り組み方も研究対象としています。更に、多数の初期及び後期研修医並びに大学からの学生実習を受け入れているため、教育という面にも力を入れており、効率的且つ効果的な研修のあり方についても研究の対象としています。

最近の主な研究テーマは、多岐にわたっています(下記参照)。また2020年度からはCOVID-19の流行により妊婦・新生児・小児陽性患者・小児濃厚接触者の入院治療に関わり、小児COVID-19感染の臨床像の解明を進めるためデータ解析を進めています。

救急医療も診療の柱としているため研究に割くための時間が十分ではなく、また研究助手的立場の人間がないので雑務から全て自らの手でやらないといけないため運営に困難を極めているのが現状ですが、各自年1回の学会発表と1編の論文発表を努力目標としています。

共同研究も積極的に受け入れています。どうぞお気軽にご連絡ください。また、逆に当研究室から発する共同研究へのご協力もよろしくお願い致します。

● 活動状況

1. NHO ネットワーク共同研究(成育医療)
2. 岡山大学教育学部、岡山大学医学部公衆衛生学教室との共同研究
3. 治験(成長ホルモン、酵素製剤、抗RSウイルス薬)
4. 市販後調査
5. 母乳育児推進

● 研究業績

1. 2022年度新規・継続臨床研究

【小児科】

- 1) 橋本病、萎縮性甲状腺炎のLT4投与前後の成長率、肥満度の変化について
- 2) 本邦小児末期腎不全患者の実態把握のための新規発症実態調査および追跡予後調査
- 3) 小児内分泌疾患患者臨床情報の全国登録システムの構築
- 4) 小児重症紫斑病性腎炎の全国疫学調査研究(二次調査)
- 5) 日本小児がん研究グループ血液腫瘍分科会(JPLSG)における小児血液腫瘍性疾患を対象とした前方視的研究

- 6) リツキシマブによる重症低ガンマグロブリン血症・無顆粒球症に関連する遺伝子の探索
- 7) 熱性けいれん重積を伴う突発性発疹症の宿主自然免疫応答の解析
- 8) データベースを用いた国内発症小児 Coronavirus Disease2019 (COVID-19)症例の臨床経過に関する検討
- 9) 内分泌代謝疾患の遺伝子型・核型・表現型関連等に関する研究
- 10) 脳脊髄液中の睡眠・覚醒関連物質であるオレキシン等の測定研究
- 11) 畳み込みニューラルネットワークによる深層学習を用いた日本人小児骨年齢の自動判定プログラムの作成
- 12) 先天性補体欠損症の全国疫学調査
- 13) ステロイド薬または免疫抑制薬内服下での弱毒生ワクチン接種の多施設共同前向きコホート研究
- 14) MPS I レジストリー参加登録
- 15) Coffin-Siris 症候群の原因遺伝子である ARID1B における新規変異の細胞表現型 解析
- 16) 副甲状腺機能低下症・偽性副甲状腺機能低下症とその類縁疾患の実態調査及び疾患レジストリの 2 次調査

【新生児科】

- 1) 「母子同室実施の留意点」公開後の「赤ちゃんにやさしい病院」における母子同室・母子同床の現状把握と産科補償制度原因分析報告書を用いた新生児急変例の解析による望ましい母子同床の実施方法の検討
- 2) Small-for-gestational-age が正期産相当時期の脳容積に与える影響
- 3) 出生後の呼吸状態が正期産相当時期の脳容積に与える影響
- 4) low Apgar Score で出生し当院 NICU に入院した児の予後の検討
- 5) 新生児低体温療法レジストリーによる我が国の新生児蘇生法ガイドラインの普及と効果の評価に関する研究
- 6) 周産期母子医療センターネットワークの構築およびハイリスク児のアウトカム分析

2. NHO ネットワーク共同研究

【新生児科】

- 1) 〈29-NHO(成育)-01〉NICU 共通データベースを利用した SGA (Small-for-Gestational Age) 児における唾液 DNA メチル化と生活習慣病の関連に関する研究

3. 受託臨床研究及び公的研究費臨床研究

【小児科】

- 1) 〈J-ACT〉神経型ゴーシェ病患者を対象としたアンブロキシール塩酸塩を用いたシャペロン療法の有効性及び安全性を評価する 2 コホート、非無作為化、多施設共同研究
- 2) 〈JPLSG-ALL-B19〉小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の多施設共同第 III 相臨床試験
- 3) 〈JPLSG-ALL-T19〉小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験

- 4) 〈JPLSG-AML-20〉小児急性骨髄性白血病を対象とした微小残存病変を用いた層別化治療、および非低リスク群に対する寛解迅入後治療におけるゲムズマブオゾガマイシン追加の有効性および安全性を検討するランダム化比較第 II 相臨床試験(JPLSG-AML-20)
- 5) 〈JPLSG-B-NHL-20〉小児・AYA 世代の限局期成熟 B 細胞性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験
- 6) 〈JPLSG-CML-17〉初発時慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病を対象としたダサチニブとニロチニブの非盲検ランダム化比較試験
- 7) 〈JPLSG-EBV-HLH-15〉小児および若年成人における EB ウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症に対するリスク別多施設共同第 II 相臨床試験
- 8) 〈JPLSG-JMML-20〉若年性骨髄単球性白血病に対するアザシチジン療法の多施設共同非盲検無対照試験
- 9) 〈JPLSG-LCH-19〉小児および若年成人におけるランゲルハンス細胞組織球症に対するリスク別多施設共同第 II 相臨床試験
- 10) 〈JPLSG-MLL-17〉MLL 遺伝子再構成陽性乳児急性リンパ性白血病に対するクロファラビン併用化学療法の有効性と安全性の検討をする多施設共同第 II 相試験および MLL 遺伝子再構成陰性乳児急性リンパ性白血病に対する探索的研究
- 11) 〈ゴーシェ病臨床研究〉神経型ゴーシェ病に対するアンブロキソールを用いたシャペロン療法